

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市富岡地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・横浜市や金沢区の平均を上回る高齢化と、一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯が増加し、長く活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化もあり、地域支援の担い手不足、世代交代が進まないという現状があります。
- ・これまで同様に「富岡地域支えあい連絡会」（以下、支えあい連絡会）を通じて、地域課題と現状把握に努め、必要な支援を地域と一緒に考えて参ります。
この「支えあい連絡会」の場・機能を活かし地域ケア会議等を開き、日ごろの相談事や個別のケースを検討し、出てくる地域課題等を題材に取り組みます。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

【高齢者・障害分野への対応】

（わかりやすい相談対応と説明）

- ・相談者に対して介護保険制度や介護サービス等の説明を行う際、視覚的に分かりやすく、パンフレット、地域インフォーマルサービスを富岡支えあい連絡会で作成した「富岡地域支えあいマップ」等を使用し、説明・紹介を行います。
- ・館内に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子がわかる写真を貼ったパネルを掲示し、視覚で訴え、よりわかりやすい説明・紹介に努めます。

（出前講座・出張相談会等の実施）

- ・身近な場所で介護・福祉相談につながるよう、出前講座という形で地域に出向き、介護保険や成年後見等の各制度について説明会を行うとともに、出前講座の後に相談会を開催します。

（問題の早期発見）

- ・民生・児童委員や福祉関係者と適宜連絡を取り、支援の必要な高齢者の課題へ早期に対応できるよう努めます。相談内容に応じて、行政との定例会議等で検討・対応し、連携を図ります。
- ・当地域ケアプラザは市営住宅と一体の建物のため、市営住宅生活援助員との連携を欠かさないう、エリアの民生・児童委員を交えた連携会議を開き、情報共有をします。

【こども・障害分野への対応】

- ・養育者にメールで事業や地域の情報を伝えていきます。また、学校、主任児童委員と情報共有を行っていきます。

(2) 各事業の連携

(課題の抽出と情報の共有)

- ・事業の実施にあたり、地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターと地域包括支援センター職員間で連携を図ります。
- ・地域活動交流と生活支援コーディネーターを含む地域包括支援センターでの定例会を月1～2回開催し、情報の共有を図ります。
- ・「支えあい連絡会」の場と機能を活かし、「地域ケア会議」を連携・連動させながら、個別課題の検討と解決から見えてくる地域の課題を題材に課題解決に努めます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

(職員体制・育成)

- ・必要な資格者を配置することは勿論のこと、幅広い世代からのご意見やご要望などに耳を傾けながら、相手を思いやることのできる人間性豊かな職員を育成及び配置します。
- ・それぞれの職種において、法人本部と連携して適切な人員配置をします。
- ・同一法人で運営しているケアプラザと勉強会を開催し、専門職としてのスキルアップを図ります。
- ・意向調査を実施し、意欲的な業務が行えるようフォローアップに努めます。
- ・他部署との会議を毎月開催し、それぞれの業務内容を把握し連携します。

(公正・中立性の確保)

- ・地域包括支援センター業務だけではなく、指定管理者として、地域ケアプラザの運営全体において公正・中立であることが求められていると考えています。業務運営にあたっては、職員一人一人の言動を含め、利用者やほかの事業者から疑念を持たれないように対応します。
- ・さらに業務運営にあたって公正・中立であることは、毎月の会議等普段から機会をとらえて職員に周知徹底します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

(「支えあい連絡会」を通じたネットワーク構築)

- ・「支えあい連絡会」の場と機能を活かし「地域ケア会議」を連携・連動させながら、個別課題の検討と解決から見えてくる地域の課題を題材に課題解決に努め、ネットワークの構築を目指します。

(民生・児童委員、地域活動団体との連携)

- ・民生・児童委員、地域のボランティアグループ等との情報交換を行い、支援の必要な人の早期発見と対応に繋がります。
- ・民生・児童委員をはじめとして、保健活動推進員等、各活動団体の定例会等に参加し、情報交換だけにとどめず、地域包括支援センター、地域ケアプラザ事業への協力等を依頼します。

(地域防災に関するネットワーク構築)

- ・エリア内の自治会・町内会防災訓練や防災拠点訓練等の機会を捉えて参加し、自治会とのネットワーク構築強化を図ります。

(子育てに関するネットワーク構築)

- ・民生・児童委員が実施している子育て支援事業に参加し、情報収集、情報提供を行い、ネットワーク構築に取り組みます。
- ・障がい児対象の自主事業の取組みを継続します。

(学校との連携)

- ・ 3年目を迎える小学校と地域の方たちとの花壇づくりの支援を継続するとともに、個別支援級の生徒との畑作りの支援も行っていきます。
- ・ 近隣小学校と連携し、デイサービスへの慰問、ケアプラザへの勉強など交流を深めます。

(5) 区行政との協働

- ・ 横浜市地域福祉保健計画や金沢区運営方針の目標が達成できるよう、様々な事業に協力します。
- ・ 地域支援チームの一員として、第3期地域福祉保健計画の推進に向けて積極的に連携します。
- ・ 必要な情報共有を図ることで、同じ方向性をもって地域福祉に貢献します。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・下記の事業を自主企画事業として実施します。

せせらぎサロン	歌声広場
多世代昼食会	お父さんといっしょにあそぼう
ほほえみくらぶ	いちごクラブ
親子でチャレンジ	けあぶら広場
0～1歳児の講座	ボランティア感謝会
個別支援級に通う小学生余暇支援 「ひなたぼっこ」	個別支援級に通う中学生の余暇支援 「ぽっかぽか」
サマーフレンド	手作りクッキーでクリスマス会
学校と施設の連絡会	利用者懇談会
コミハ・ケアプラ祭	みんなの歌広場
チャレンジフェスティバル	わくわく体操
女性の健康エアロビクス	リハビリ教室
ナイトヨガ	お元気フェスタ
苦手克服教室	親子の救急講座
子育て講座	シニアパワー
医療講演会	父親育児支援講座

(多世代の交流)

・地域の町内会館で昼食会を行い、多世代にわたり交流を深めます。
それに伴って、昼食作りのボランティア講座を開催します。

(継続した関わり)

・子育ての世代との関係性を構築するために、0～1歳児の講座、2～3歳講座、3～6歳講座、小学生講座、父子講座を開催します。養育者との関係性をもつような事業を行っていきます。

・子育ての継続した関係づくりや、小学校で終了でなく中学生になっても見守っていく障がい事業を行います。

・夜間帯の事業を行うことで、幅広い世代にケアプラザを知って頂き、日中は仕事をしている世代にもボランティア活動をはじめとする地域活動に関心を持って頂けるよう関係性を築きます。

・モデル事業から自主活動となる地域の方たちとの学校の花壇づくりは、先生と話し合いながら、花壇だけではなく生徒との交流をより多くもてるように幅広く活動していきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・福祉保健活動に発展するように、団体登録時と登録後に働きかけを行い、デイサービスの慰問などを行ってまいります。また、ケアプラザの事業にも協力してもらうように働きかけます。

・館内の見やすい場所にケアプラザの空き情報を掲示します。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 昼食会を開催するにあたり、昼食作りのボランティア講座を開催します。
- ・ ボランティア感謝会を開催し、いろいろなボランティア活動があることの周知を行います。
- ・ 地域の施設からの依頼などがあった場合、ニーズに合わせて利用団体に声をかけ、ボランティア活動につなげていきます。

(ボランティア募集)

- ・ 自主事業を通じてボランティアを募る他、募集チラシを館内掲示やケアプラザ広報誌に掲載します。
- ・ サークル団体の活動を活かし、デイサービス等での活動ができるよう繋げます。

(人材・担い手の育成と活動継続の支援)

- ・ ケアプラザ内のボランティアの方々に日頃の感謝を込めて、ボランティア感謝会を開催します。
- ・ ケアプラザ事業でアンケートを取る際に、ボランティアに興味があり行ってみたいかの項目を設け、ボランティアに繋がります。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(情報発信)

- ・ ケアプラザ利用団体の参加者募集なども広報紙「あっとほーむ」に掲載します。
- ・ 子育て情報、メール配信の中で養育者の声を聞き、事業に活かせるよう取り組みます。

(地域関係団体活動への参加、情報共有)

- ・ 地域の定例会、サロン、地域行事に参加し情報提供、情報収集を行い、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーターと共有できるように記録を残します。
- ・ 会場利用団体の交流会を開催し、情報交換を行います。
- ・ 貸館団体が広く周知されるように、紹介ボードを作成します。
- ・ 登録団体を対象とした利用者交流会を実施します。交流会では、参加団体の紹介や活動内容、情報交換、ケアプラザの利用について、利用者アンケートの報告など行います。
- ・ 高齢化による利用団体の減少に対応するために、貸館利用団体の紹介表を館内に掲示し、来館者に活動の内容が目で見て分かるようにします。
- ・ ケアプラザの広報誌で地域のお祭りの情報提供を行います。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 区社協生活支援コーディネーター、区役所と定期会議に出席し、市区内の事業推進の方向性を共有します。
- ・ 事業推進については、5職種会議を月1回程度開くことで、担当地区での事業の方向性について協議し、ケアプラザ全体として推進に取り組みます。
- ・ 地域の健康づくり元気づくり、地域サロンやその他の事業に参加し、取組みについて地域住民に知って頂けるよう努めます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 個別のニーズを地域包括支援センター3職種からも情報を得て把握します。
- ・ 既存の地域ケア会議や支えあい連絡会などに包括職員、地域活動交流コーディネーターとともに出席し、地域の課題、解決すべき問題を把握します。
- ・ 住民による活動、生活支援サービス、サロンや健康づくり元気づくりに参加することで、生きた繋がりを作ります。
- ・ 様々なデータを基に、地域資源の把握と分析に取り組みます。

(3) 連携・協議の場

- ・ 連合自治会の定例会、民生委員・児童委員協議会に引き続き参加し、地域の状況把握に努めるとともに、ケアプラザの活動を発信します。
- ・ 地域のサロンや健康づくり、介護予防にかかる事業などへの参加を継続し、活動の実際を知るように努めます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 生活支援コーディネーターの定期連絡会に出席し、区役所、区社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携、情報共有をします。これを通じ、市域の動向を知り、担当地域での課題解決に活かします。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域の福祉保健関係団体、医療関係機関、介護サービス事業所等の専門機関だけでなく、自治会・町内会、地元商店会も含めた幅広いネットワーク構築を目指します。

(支えあい連絡会・地域ケア会議の開催)

- ・ 生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携し「支えあい連絡会」の機能を活かし、包括圏域の地域ケア会議を開催します。課題の解決に向け地域とともに考えます。

(対象エリアを超えたネットワーク・医療と介護の連携構築)

- ・ 区内包括北部エリアの4ヶ所の地域包括支援センター協働で「在宅医療連絡会」を年2回、開催します。3年目に入る今年度は、金沢区医師会と薬剤師会に企画段階から関わっていただき、「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の視点から課題の抽出、解決に向けてディスカッションします。

(地域住民との連携構築)

- ・地域の福祉ネットワーク構築の充実を目標に、地域の福祉保健関係団体、主として民生委員・児童委員とケアマネジャーとの意見交換会を担当エリアで実施します。

②実態把握

(相談内容から集計・分析)

- ・日頃の相談から地域の実態を知るため、総合相談票を集計し「相談や介護が必要となった理由」を知ることで、業務の方向性を見据えます。
- ・日ごろの相談から実態把握をし、事業の方向性を定めるなど業務に反映させます。

(地域のデータから知る)

- ・高齢化率などのデータや社会資源を地図等に落とし込み、地域の実態を「見える化」します。「見える化」したデータは随時更新し、グラフや表にしてケアプラザ廊下等に掲示を続けます。

(地域との情報共有)

- ・民生・児童委員、配食等の町内会のボランティア等から情報を受け、また、ケアプラザから情報を伝え、互いに情報を共有して、支援を必要とする方、必要となりそうな方の把握に努めます。
- ・担当地区に2か所ある市営住宅生活援助員や、地域の民生委員・児童委員と連絡を取りあい、要援護者の情報共有、実態把握に努めます。

(地域サロン等への参加)

- ・顔は知っていてもなかなか挨拶もできないでいた住民どうしが繋がることのできる場に共にいることで、生きた情報と実態の把握ができると感じています。
地域にある複数のサロンに地域活動交流・生活支援コーディネーターと包括支援センター職員で参加し、来ることができなくなる人＝支援が必要になりそうな人等の早期発見・把握に努めます。

(ひとり暮らし高齢者見守り推進事業)

- ・横浜市の事業である「ひとり暮らし高齢者見守り推進事業」を、民生・児童委員、金沢区との連携で行い、対象となる住民の実態把握に努めます。

③総合相談支援

(総合相談機能の周知)

- ・当地域包括支援センター作成の顔写真入りの案内カードを地域の催し等で配布し、総合相談機能の周知・PRに努めます。
- ・相談票から「センターを知った経緯」を集計し、その結果をまとめて資料とし、効果的にPRする基礎資料にします。

(相談対応、相談後の記録管理)

- ・地域包括支援センター職員間で共有できるよう、総合相談・継続記録を管理します。
- ・地域包括支援センターで関わるケースを見通せるよう、昨年作成した検索リストを引き続き管理し、更新します。
- ・山坂の多い地区であり、相談に来たくても来ることができない方には、随時訪問し相談対応をします。

(情報提供の工夫)

- ・相談者への情報提供は、介護保険サービスだけでなく地域のボランティア活動、健康づくり等のインフォーマルなサービスについて随時紹介します。

- ・相談室に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子の写真を貼ったパネルを掲示し、視覚的に訴えわかりやすい情報提供をします。

(出前講座・出張相談会等の実施)

- ・ケアプラザから遠い地区で相談に来られない方のために、介護保険や成年後見制度の「出前講座」を開き、講座終了後個別に相談会を開きます。課題の早期把握・対応につなげます。

(地域と連携した相談対応)

- ・相談対応を通して把握した困りごとやニーズを、民生・児童委員や地域のボランティアに伝え、地域とともに困りごとや生活のしづらさを解決していきます。

(職員の研修参加)

- ・適宜、研修に参加します。参加職員は情報が共有できるように研修資料を職員回覧周知し、日々の相談業務に活かします。

(ご利用者向けのアンケート)

- ・相談業務の質の向上を図る目的で「利用者アンケート」を実施します。結果の集計と、頂くご意見から相談業務を振り返ります。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(制度の普及と相談会の開催)

- ・地域住民への普及啓発として、制度の普及を目的とした出前講座を実施します。
- ・「シルバーライフ安心講座」を継続開催し、制度の説明や啓発等を行います。
- ・いずれも講座終了後に、個別相談会を開催します。

(消費者被害の防止)

- ・被害が心配されるケースには、防止のためのシール（消費生活総合センター作成）を配布、玄関先に貼ってもらう等の注意喚起を続けます。
- ・悪徳商法の最新情報を、介護者のつどい、元気づくりステーションや健康づくり教室等の参加者に話をして注意喚起します。
- ・町内会と共催し、消費者被害防止のため「消費生活講座」を消費者センター等との協力で実施します。
- ・被害に遭った方、そのご家族、民生委員や介護関係者から情報を得て、地域住民や他包括センター等と共有し、注意喚起ができるよう被害情報の記録整理をします。

②高齢者虐待への対応

(地域の福祉関係者との連携)

- ・地域包括支援センターの機能と役割を随時周知し、地域福祉関係者、各関係機関と常に連携をとり、早期発見・早期対応につなげます。

(他機関とのネットワーク構築)

- ・対応が必要なケースがあれば、金沢区役所、警察、弁護士等の専門機関と問題解決に向けたネットワーク（チーム）を組み、区と協働し「ネットワークミーティング」等の連携会議の開催をします。

(虐待の理解と周知による防止策)

- ・虐待の防止を図るため、また養護者支援の視点を欠かさないう「介護者のつどい」等の場を活用し、養護者介護者との関係づくりをし、虐待に至る前に早期発見に努

め、虐待防止に繋げていきます。

③認知症

(実態把握)

- ・地域包括支援センターの機能を活かし相談を受け、総合相談票で「相談が必要となった原因」を聞き取り、集計により実態把握を続けます。

(認知症理解の普及・啓発)

- ・地域住民を対象とした認知症講演会や啓発事業を実施します。
- ・認知症予防に資する講座や研修を開催し、認知症予防の普及・啓発に努めます。

(認知症キャラバンメイトとの協働・後方支援)

- ・地域の認知症キャラバンメイト（以下、キャラバンメイト）と協働して、シニアクラブ、学校、地域活動交流自主事業等と連携し、認知症サポーター養成講座を開催します。
- ・キャラバンメイトが地域包括支援センターの担当エリア内で活動できるよう、認知症サポーター養成講座の内容をともに考え、活動場所の提案・提供を行います。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

(民生・児童委員とケアマネジャーとの連携推進)

- ・民生・児童委員とケアマネジャーとの意見交換会を継続して実施します。具体的な課題を出して、共に考える意見交換会にする予定です。

(インフォーマルサービスの開発と情報収集) ※1

- ・地域に出向き、聞き取り調査等で情報収集をし、日々の相談や地域ケア会議等にも活用できるよう整理し、適宜地域住民に還元することで、連携の推進を図ります。

(医療講演会の実施) ※2

- ・区内の医療機関(病院)と協働し、地域住民向けの医療講座を年2回実施します。富岡第一地区は地区社会福祉協議会と共催し、並木地域ケアプラザと協働します。

※1 ※2 地域活動交流部門と協働

②医療・介護の連携推進支援

(医療機関とケアマネジャーの意見交換)

- ・金沢区薬剤師会とケアマネジャーとの意見交換会を、医療と介護の連携推進を目的に開催します。開催にあたっては、区内の全地域包括支援センターで協働します。

- ・区内包括北部エリアの4ヶ所の地域包括支援センター協働で「在宅医療連絡会」を年2回開催します。3年目に入る今年度は金沢区医師会と薬剤師会に企画段階から関わっていただき、より充実した連絡会を目指します。「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の視点から課題の抽出、できれば課題解決に向けてディスカッションをしたいと考えています。

- ・金沢区内外の病院医療ソーシャルワーカーと区内の全地域包括支援センターとの連絡会を開き、意見交換を行います。

※いずれも他ケアプラザ包括との協働事業です

③ ケアマネジャー支援

(随時の個別相談・支援困難ケース等の対応)

- ・ 随時、担当エリア内外のケアマネジャーから相談を受け、必要に応じて同行訪問します。受けた相談は、民生・児童委員や医療機関等に必要に応じて協力を仰ぎます。
- ・ ケアマネジャーが適切な地域情報を得られるよう、生活支援コーディネーター作成の「富岡エリアマップ」等で情報提供をします。
- ・ 地域での見守りが継続でき、対象者が地域で培った関係が途切れないよう、地域情報の提供等による支援をケアマネジャーに働きかけます。

(地域ケア会議でのケース選定)

- ・ ケアマネジャーが担当するケースから選定し、ケアマネ支援につなげます。

(民生・児童委員とケアマネジャーの連携支援)

- ・ 富岡第一地区民生・児童委員との意見交換会を並木地域ケアプラザと協働で開催します。
- ・ 富岡第三地区民生・児童委員との意見交換会を実施します。
- ・ 両地区とも、地域の高齢者の状況及び支援の課題等について意見交換を行います。

(金沢区北部(富岡東・能見台・並木・富岡)の地域包括支援センター協働)

- ・ 「ケアマネ・カフェ」を年2回実施します。気軽に話し、困りごとや悩みごとの相談ができる場として運営します。
- ・ ケアマネジャーのスキルアップを目的に事例検討会を年2回予定で実施します。
- ・ 「在宅医療連絡会」を年2回、開催します。3年目に入る今年度は、金沢区医師会と薬剤師会に企画段階から関わっていただき、「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の視点から課題の抽出、解決に向けてディスカッションします。

(金沢区の全地域包括支援センター協働)

- ・ 薬剤師とケアマネジャーの意見交換会を開催します。
- ・ 区内勤務の新任ケアマネジャーを対象に「新任ケアマネ研修」を開催します。
- ・ 主任ケアマネが輪番で金沢ケアマネ倶楽部役員会に出席し、連携を図ります。
- ・ 居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員を対象に、金沢区主任ケアマネジャーネットワークを昨年に引き続き実施します。研修だけでなく、課題解決などを目的とした話し合い等も企画していきます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別支援を目的としたケア会議で課題を抽出し、課題を地域で解決するために、地域包括支援ネットワーク構築などを目的にした「地域ケア会議」を開催します。
- ・ 個の問題から地域・医療・介護の連携を視野に入れ、地域課題の抽出をするとともに、出た課題を題材として具体的な取り組みができるか地域とともに考えます。
- ・ 開催にあたっては「支えあい連絡会」等の既存の会議を活用し、その機能を活かしていきます。
- ・ 包括レベルの地域ケア会議では、富岡エリアの特徴であり、10年間に渡り盛んに行われている健康づくりの実態把握をしたうえで、富岡の元気づくり健康づくりの「これからの10年」をテーマに年2回(5月・他未定)開催します。
また、一昨年・昨年に引き続き「在宅医療連絡会」を年2回開催します。今年度は「在宅ターミナル期」をテーマに、多職種で話し合いをします。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

（地域と連携するケアマネジメント）

- ・横浜市平均よりも高齢化が進む地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから、認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わります。
- ・担当の地区には、元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサークルをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルの受け皿を取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案します。
- ・地域の特性を理解し、社会資源を「マップ化」「見える化」した基礎資料を作成（更新）し、この資料を基に要支援、介護予防段階の方が介護保険に止まらず、地域に繋がり、積極的参加ができるよう情報提供するとともに、活動につながるよう支援します。

（ケアマネジメントの委託）

- ・委託でケアプランを依頼しているケアマネジャーとともに、サービス担当者会議に参加し、その方に適したケアマネジメントを一緒に考えられるようにします。

（介護予防・認知症予防と知識の普及啓発）

- ・認知症の相談が増えています。認知症の正しい知識の周知を目的として、認知症サポーターの育成を地域のキャラバンメイトの皆様とともに取り組みます。
- ・今年度で5年目になる「とみおか健康フェア」を地域住民と一緒に企画し、健康に対する啓発活動を行い、健康寿命の延長を考える機会とします。
- ・地域の関係機関と連携しながら健康づくり生きがいつくりの充実を図り、住みよいまちづくりを考えていきます。
- ・医師等による講座を開催し、介護予防・認知症予防について、地域住民向けに知識の普及啓発を行っていきます。

（ラジオ体操）

- ・ラジオ体操がエリア内の4か所の公園で毎朝実施されています。口コミで、地域を越えて、参加者が増えるとともに緩やかながら交流の場にもなっています。地域の前向きな取り組みとして、地域住民に適宜情報提供します。

（地域サロン等への参加）

- ・地域サロン等へ包括、地域交流部門から参加し、介護予防の話などを実施します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・データの的には高齢化率が高く、環境的には山坂が多いという生活し難い地域であることがわかります。訪問時には、一人暮らしや高齢夫婦2人の生活不安や災害時の心配の声が聞かれます。すぐに解決できないことが多いですが、包括にできることは何かを考え、支援に繋がります。

（健康づくり・元気づくり）

- ・今あるサービス、地域で実施しているラジオ体操、元気づくりステーション、サロン等を紹介し繋げる事はもちろん、様々な層の高齢者の思いに沿う場作りを地域の皆様と一緒に考えます。
- ・地域に出向いて、健康づくりや介護予防の講座（栄養講座・口腔ケア・ロコモ講座）を開催します。

- ・各町内会で行われている体操教室や元気づくりステーションに出向き、健康講話と年1回の体力測定で体操講師からのコメントを入れた結果返しを行い、「自分の健康は自分でつくる、自分でまもる」という意識を高めて頂けるよう、継続して通い続けることの大切さをお伝えします。

(支えあいマップ)

- ・地域住民と一緒に「支えあいマップ」作りを行い、活動に参加していない、または参加ができなくなっている高齢者等を把握し、そのような高齢者が活動に参加できるように拡充を図っていきます。

(カフェ・サロンの開催)

- ・認知症カフェの理念にも繋がるよう、住民参加型のカフェを開催、充実を図ります。気軽に集い、認知症のことなど、何でも相談できる居場所作りを促進していきます。

その他

- ・地域ケアプラザの大きな仕事は、ネットワークの構築にあると考えて業務に取り組みます。地域包括ケアの実現に向けて、日々の活動を振り返り、地域課題を探り、具体的な取り組みができるか地域とともに考えます。
- ・高齢化率の高い地域の状況や地域の社会資源を「マップ化」「見える化」して、地域福祉保健計画に沿って業務を遂行します。
- ・地域特性を理解し、社会資源の開発等について、地域住民とともに「地域支えあい連絡会」で考え、「地域ケア会議」を通して住民・関係機関とのネットワークを構築していきます。
- ・これらの実施にあたっては、生活支援コーディネーターと地域交流、地域包括支援センターが一体となり進めます。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設を利用するすべての方が、安全かつ快適にご利用できるよう、指定管理者の基本協定書に基づき、建物や設備の保守管理に努めます。
- ・建物管理に関する業者と連携を図り、保守点検や施設清掃等、計画的に行います。
- ・日頃から職員による目視点検を行い、改善が必要な個所がないか確認します。
- ・施設の外回りにおいても美化清掃を実施し、利用しやすい施設作りに努めます。
- ・修繕等が発生した場合は速やかに区と協議し、必要な対策を講じます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・備品や物品購入は、品質・価格・納期などの内容を総合的に検討し、適正に購入します。
- ・委託業者については、法人一括で入札から決定することで、スケールメリットを生かしながらサービスの質を落とすことない支出を実施します。
- ・法人内の会議において業務効率を図るための取り組みを共有し、無駄のない経営に取り組みます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情申し入れに応じた役割や解決までの苦情処理システムフローを活用し、真摯に受け付けし、苦情解決を実現します。
- ・ 「苦情相談窓口」の案内を見やすい場所に貼付して施設利用者への周知を図ります。
- ・ 貸館利用団体の交流会などを活用し、気軽に苦情や要望など申し入れやすい環境を整えます。
- ・ 各部署に苦情担当者を配置して、苦情を受け付けた際は誠意をもって対応し、苦情解決責任者が必要な対策を図ります。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ セキュリティー会社と24時間の連絡体制を確保し、防犯・防災に努めます。
- ・ 年2回の防災訓練の実施や防災マニュアルの確認の他、併設する富岡西ハイツと共同して防災訓練を実施するなど、相互援助の関係を構築します。
- ・ 「特別避難場所の協力に関する協定」に沿って、応急備蓄物資の整備や開設マニュアルの見直しを行い、災害における開設への備えを行います。
- ・ 横浜市防災情報のサイトにて、担当エリアにおける災害情報に添って必要な対策を講じます。

オ 事故防止への取組について

- ・ ご利用者が安心して利用できるように、日頃から事故につながる恐れがある危険因子の早期発見に努め、予見可能な事故は未然に防ぎます。
- ・ 回避困難な突発的な事故や利用者の急病などについては、安全及び人命維持を第一に、迅速に対応します。
- ・ 法人内の事例や他のケアプラザにて発生した事故などについても情報把握に努め、事故防止に対する対応を検討します。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 「横浜市個人情報保護に関する条例」、当法人の「個人情報保護規定」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報保護に努めます。
- ・ 外部への情報発信に関してはダブルチェックを徹底し、情報処理適正化に努めます。
- ・ パソコンや個人情報書類などは、パスワード管理や施錠できる場所に保管するなど厳格な取り扱いを周知・徹底します。
- ・ 個人情報の漏洩を防止するため、業務事例などを用いて実践的な研修を実施します。

キ 情報公開への取組について

- ・ 運営状況・事業計画・報告及び当法人のパンフレットなどを、常時、閲覧できる場所に設置する他、法人のホームページにおいても最新の情報提供に努めます。
- ・ 介護サービス事業に関しては、情報公表サービスの記載内容に変更が生じた際は速やかに対応します。
- ・ 写真や資料などを用いて、必要な情報公開を実施します。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 指定管理者の基本姿勢として、様々な人権問題があることに配慮すること、また人権を考える機会をより多く設けることを念頭に、職員の意識向上に取り組めます。
- ・ 事務所会議など定例的な会合などを利用し、職場でもタイムリーなテーマを取り上げて研修を行います。
- ・ 高齢者や児童の虐待など、業務上でも取り組む可能性の高いものについては、特に意識的に課題追求の取り組み姿勢で対応するように努めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 冷暖房においても適正温度に設定し、送風機などを活用して省エネに努めます。
- ・ 車両に関しては、急発進やアイドリングなど無駄な燃料消費を防ぐことや定期点検や運行前点検を実施し、安全と環境に配慮した車両維持に努めます。
- ・ 利用者に不快な気持ちを与えないよう配慮しながら、気候に応じた服装でクールビズ・ウォームビズを実施します。
- ・ 地域住民にも啓発しながら「3R夢プラン」に準じてゴミの発生抑制・再使用・再生利用に継続して取り組みます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名【常勤】
社会福祉士	1名【常勤】
主任ケアマネジャー	1名【常勤】
介護予防プランナー (介護支援専門員)	1名【非常勤】

《目標》

- ・横浜市平均よりも高齢化進む地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから、認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わります。
- ・担当の地区には、元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサークルをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルの受け皿を取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、利用者負担はありません。
但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・対象エリアは、昭和40年代に開発された住宅地で山坂が多く、公的な機関も小・中学校・コミュニティハウスのみです。生活するうえで様々な社会資源についての情報を求められることから、地域を巡回する移動販売車のルートや地元商店街情報など、暮らしに密着した地域の情報を提供し、暮らしづらさの解消に努めます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	165	165	165	160	160
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	160	160	155	155	150

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）	
常勤兼務	1名 ※管理者を兼務
常勤専従	4名
非常勤専従	1名
非常勤兼務	0名
合計	6名

《目標》

- ・ 住み慣れた地域で安心した生活が営めるよう、ご利用者及びご家族に添ったケアプランを作成いたします。
- ・ 介護保険サービスだけに偏ることなく、地域におけるインフォーマルサービスも取り入れたケアプランを作成いたします。
- ・ 利用者情報の伝達や共有をする会議を毎週実施し、質の高いサービスを提供出来るよう努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、利用者負担なし。

但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 主任介護支援専門員を配置し、より質の高いサービスを提供するために特定事業所加算Ⅱを算定。
- ・ 24時間での相談体制を確保する事で、支援困難ケースにも対応いたします。
- ・ 看護師、介護福祉士、主任介護支援専門員の有資格者により、地域における多様なケースを担当いたします。
- ・ 一部のサービス事業所に偏るケアプランにならないよう、透明性のあるサービスを提供いたします。
- ・ 経験年数に応じた年間研修計画書を作成し、研修会へ積極的に参加する事で、常に資質の向上につなげるよう努めます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
175	175	175	175	175	175
10月	11月	12月	1月	2月	3月
180	180	180	180	180	180

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、レクリエーション、相談援助等を提供します。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り適宜サービス提供を実施いたします。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	● 1割負担分	● 2割負担分
（要介護1）	614円	1,228円
（要介護2）	725円	1,450円
（要介護3）	837円	1,674円
（要介護4）	948円	1,896円
（要介護5）	1,060円	2,120円

- 食費負担 680円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:00~15:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員（兼介護職員）	3名（常勤兼務）
介護職員	17名（非常勤）
看護職員（兼機能訓練指導員）	9名（非常勤兼務）
調理員	5名（非常勤）
運転士	7名（非常勤）

《目標》

- ・中重度の要介護者も積極的に受け入れて、ご家族の介護負担軽減に努めます。
- ・本人の意思決定が行えるよう、様々なプログラムを提供いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・将棋・囲碁・麻雀など、個別のレクリエーションの提供いたします。
- ・ご利用者の状態に合わせた食事・排泄・入浴の介助等を検討し提供いたします。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
830	830	830	830	830	830
10月	11月	12月	1月	2月	3月
830	830	830	840	840	850

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、口腔ケア、レクリエーション、相談援助等を提供いたします。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供を実施します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	● 1割負担分	● 2割負担分
（事業対象者）		
※週1回程度の利用	1,766円（1月につき）	3,531円（1月につき）
※週2回程度の利用	3,621円（1月につき）	7,241円（1月につき）
（要支援1）		
※週1回程度の利用	1,766円（1月につき）	3,531円（1月につき）
（要支援2）		
※週1回程度の利用	1,766円（1月につき）	3,531円（1月につき）
※週2回程度の利用	3,621円（1月につき）	7,241円（1月につき）

- 食費負担 680円（1食につき）

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00~15:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員（兼介護職員）	3名（常勤兼務）
介護職員	17名（非常勤）
看護職員（兼機能訓練指導員）	9名（非常勤兼務）
調理員	5名（非常勤）
運転士	7名（非常勤）

《目標》

- ・自立した生活が継続できるようケアマネジャーや関係機関と連携を図ります。
- ・要介護状態にならないよう様々な機能訓練を取り入れます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

生活に活かせるリハビリテーション（生活リハビリ）などをプログラムに取り入れて、生活機能の維持・改善を目指します。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	150	150	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

平成29年度 「富岡地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,467,000	0	18,467,000		18,467,000	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,990,000		3,990,000		3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	0	3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,467,000	0	18,467,000	0	18,467,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,470,000	0	10,470,000	0	10,470,000	
本俸	10,407,000		10,407,000	0	10,407,000	
社会保険料			0	0	0	
手当計			0	0	0	
健康診断費	63,000		63,000	0	63,000	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	2,034,400	0	2,034,400	0	2,034,400	
旅費	23,000		23,000	0	23,000	
消耗品費	570,000		570,000	0	570,000	
会議ठीい費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	15,000		15,000	0	15,000	
通信費	331,000		331,000	0	331,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分		0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	570,000		570,000	0	570,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000	0	33,000	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	130,000		130,000	0	130,000	
手数料	33,000		33,000	0	33,000	
地域協力費			0	0	0	
その他	323,400		323,400	0	323,400	
事業費	572,000	0	572,000	0	572,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	530,000		530,000	0	530,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	4,553,000	0	4,553,000	0	4,553,000	
建築物・建築設備点検			0	0	0	指定額
光熱水費	2,018,000	0	2,018,000	0	2,018,000	
水道光熱費CP	2,018,000		2,018,000		2,018,000	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	236,508		236,508	0	236,508	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	168,986		168,986	0	168,986	
設備保全費	779,585	0	779,585	0	779,585	
空調衛生設備保守	372,726		372,726	0	372,726	
消防設備保守	37,125		37,125	0	37,125	
電気設備保守	23,333		23,333	0	23,333	
害虫駆除清掃保守	77,403		77,403	0	77,403	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	268,998		268,998	0	268,998	
共益費			0	0	0	
その他	875,921		875,921	0	875,921	
公租公課	837,600	0	837,600	0	837,600	
事業所税			0		0	
消費税	837,600		837,600	0	837,600	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,467,000	0	18,467,000	0	18,467,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「富岡地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,350,000		23,350,000		23,350,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（ ）			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	29,290,000	0	29,290,000	0	29,290,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,230,000	0	25,230,000	0	25,230,000	
本俸	25,112,000		25,112,000		25,112,000	
社会保険料			0		0	
手当計			0		0	
健康診断費	118,000		118,000		118,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,406,000	0	1,406,000	0	1,406,000	
旅費	29,000		29,000		29,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議ठीい費	1,000		1,000		1,000	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信運搬費	337,000		337,000		337,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000		33,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	7,000		7,000		7,000	
リース料	198,000		198,000		198,000	
手数料	7,000		7,000		7,000	
地域協力費			0		0	
その他	164,000		164,000		164,000	
事業費	1,240,000	0	1,240,000	0	1,240,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	150,000		150,000	0	150,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,414,000	0	1,414,000	0	1,414,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	636,000	0	636,000	0	636,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	
水道光熱費CP	636,000		636,000		636,000	
清掃費	62,868		62,868	0	62,868	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械整備費	44,919		44,919	0	44,919	
設備保全費	207,229	0	207,229	0	207,229	
空調衛生設備保守	99,079		99,079	0	99,079	
消防設備保守	9,868		9,868	0	9,868	
電気設備保守	6,202		6,202	0	6,202	
害虫駆除清掃保守	20,575		20,575	0	20,575	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	71,505		71,505	0	71,505	
共益費			0	0	0	
その他	336,984		336,984	0	336,984	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,290,000	0	29,290,000	0	29,290,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業計画書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
0～1歳児講座	<p>(目的) 子供が生まれての地域のつながりづくり、情報交換、情報収集の場のために行います。また、0歳からケアプラザにきてもらうことで、長い期間を通じ顔のいえる関係づくりを目指します。</p> <p>(内容) 「ベビーマッサージ」「ママのヨガ」「離乳食講座」「リンパの流れのストレッチ」などを行います。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほほえみくらぶ	<p>(目的) 2～3歳児を対象に就園前の友達づくり、養育者の情報交換の場づくりを行います。また、いろいろな活動の経験をすることで、今後に活かしてほしいという願いをこめてます。0～1歳児講座からの延長とします。</p> <p>(内容) 「お菓子作り」「親子体操」「サッカー」「リトミック」「音楽レクリエーション」「じゃがいもほり」など</p>	毎月第4水曜日 10:30～11:30 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いちごクラブ	<p>(目的) 歩ほえみくらぶを卒業して、幼稚園に通う子を対象に行う。子育てのお母さんたちのつながりが、1～2年しかないことからつながりを持ちながら、地域の話などができるような関係づくり。</p> <p>(内容) 小さいころから遊びの中から体を動かすことの大事さを伝えるために体操教室を開催しました。人数も増えたこともあり、保護者の方へあらためていちごクラブはお母さんたちの繋がりを大切にしたいこと、ケアプラザに関わってほしいことなどを伝えました。</p>	毎月第1水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お父さんと一緒にあそぼう	<p>(目的) 4歳～小学2年生までを対象に父親と子供と一緒に遊びを通じて体を動かすことの大事さを伝えます。体操というツールを通じて親子のつながりづくり、また父親の社会参加、地域参加を目指します。</p> <p>28年度の父の会を確信的なものとしします。</p> <p>(内容) 鉄棒、跳び箱、ボール、マット、縄跳びなどを行います。</p>	6、7、9、11、1、3月 計6回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て講座	<p>(目的) 子育てに悩んでいる方に向けての講座を開催します。</p> <p>(内容) 心理カウンセラーの先生からの話を聞きながら子育てに関する悩みなどを話などを行います。</p>	9、10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でチャレンジ	<p>(目的) 親子で一緒にお菓子を作ることやひとつのことを協力して行うことの時間を楽しんでもらいます。</p> <p>また、小学生の教室を行うことで、ケアプラザの周知を行います。</p> <p>(内容) 和菓子づくり、</p>	4, 6, 8, 10, 12, 2月の第4日曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあぷら広場	<p>(目的) エリアの中に小学生の居場所がないことから学校側と話し合いケアプラザを開放します。</p> <p>(内容) 毎週火・金曜日の放課後の時間を開放します。</p>	毎週火曜日・金曜日 15:00～17:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
苦手克服教室	<p>(目的) 子どもの運動能力の低下が言われて中、養育者が運動を教える難しさから苦手な運動を克服する教室を行います。</p> <p>(内容) 富岡第一地区民生委員児童委員さんの協力のもと小田小学校の体育館で運動を行います。</p>	10月頃 計1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひなたぼっこ	<p>(目的) 障がい児の居場所づくりとして放課後余暇支援を行います。地域のボランティアさんに参加してもらい地域の中での見守りにもつなげたいと思います。</p> <p>(内容) 体操、工作、お菓子作り</p>	毎月第3水曜日 15:00～17:00 計11回 (8月お休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぽっかぽか	<p>(目的) ひなたぼっこを卒業した子、また地域の中の中学生を対象に余暇支援を行います。小学生から中学生になる見守りづくりを目的としています。</p> <p>(内容) 外出余暇や室内活動を行います。</p>	夏休み、冬休み 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド	<p>(目的) 今年度は9ケアプラザで合同で2回開催します。夏休みの場の提供。</p> <p>(内容) 2か所の地区センターとケアプラザを使い、体を動かすこと、室内での活動などを行います。</p>	夏休みの計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手作りクッキーでクリスマス会	<p>(目的) 障がいのある子供たちの居場所づくりや地域のボランティアさんと交流することで、顔の見える関係づくりを行います。</p> <p>(内容) ケアプラザの利用団体の男性の料理教室の方の指導のもとクッキーづくりを行います。</p>	12月計1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
富岡リハビリ教室	<p>(目的) 中途障がいの方を中心にリハビリ教室の必要な方への体操へ誘い、健康維持を図る。</p> <p>(内容) 金沢スポーツクラブと共催、金沢スポーツクラブ講師の指導によるリハビリ体操の実施。ケアプラザは会場準備、参加者募集を行ないます</p>	第2水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわく体操	<p>(目的) 65歳以上の方を対象に、運動啓発や転倒防止、交流の場。</p> <p>(内容) 金沢スポーツクラブと共催。ケアプラザは準備など。講師は金沢スポーツクラブより派遣、座ってできる体操など参加者に合わせた体操を行ないます。</p>	第4金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声広場	<p>(目的) 全員で楽しくうたう。運動は嫌いだが、歌ならうたうという方などに閉じこもり予防。</p> <p>(内容) 毎月1回、ピアノに合わせて全員で歌を歌います。</p>	4月～3月 毎月第1金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの歌広場	<p>(目的) 歌声広場よりももう少し古い歌を歌いたい方の教室。歌うことの楽しさや閉じこもり予防。</p> <p>(内容) ピアノに合わせて全員で歌を歌います。</p>	毎月第4木曜日 10:30～11:30 計12回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアパワー	<p>(目的) モデル事業が終了して地域の方が小学校の生徒と交流を行っていきます。</p> <p>(内容) 地域の中で代表の方を5名選出。その方が先生たちと話し合いながら生徒との交流をはかり、花壇を行っていきます。</p>	毎月1～2回 計12回以上

事業名	目的・内容	実施時期・回数
せせらぎサロン	<p>(目的) 交流の場、見守りの場とします。</p> <p>(内容) ゲストによる音楽の提供。また、ボランティアさんと参加者さんとの交流の場とします。</p>	毎月第1、3木曜日 13:30～15:00 計20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミハ・ケアプラ祭	<p>(目的) コミュニティーハウスと共催で開催。日頃の感謝を込めての催しの開催やコンサートなどを行います。多世代の交流の場とします。</p> <p>(内容) 活動団体の発表の場、昼食、ゲームコーナーコンサートなどを考えています。</p>	10月頃 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャレンジフェスティバル	<p>(目的) 保健活動推進員さん、企業、大学との共催事業。メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームにならないようにと啓発事業と多世代の交流の場とします。</p> <p>(内容) 子供の遊び場、速度歩行、骨密度測定、血管年齢、体組成、ロコモ測定などを行います。</p>	2月頃 計1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
女性の健康エアロビクス	(目的) 女性の健康づくりの場、広い年齢層の参加を促した女性同士の情報交換、交流の場とします。 (内容) 金沢スポーツクラブと共催。エアロビクスを行います。	毎月第1.3月曜日 10:00~11:30 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	(目的) 2回のうち1回は並木ケアプラザと第一地区社会福祉協議会と金沢病院と共催事業。地域の方に広く病気の講演会をすることで、健康に対する予防などに役立ててもらいます。 (内容) 未定	7月11月頃 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ナイトヨガ	(目的) 夜間の時間帯の稼働率向上、日中仕事をしていて運動が出来ない人のため	毎月第2.4月曜日 18:45~20:30 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学校と施設の連絡会	(目的) 担当エリア、周辺の施設、学校関係との情報交換の場とします。 (内容) 学校と保育園、施設の情報交換会。能見台地域ケアプラザと共催事業。	6月

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
利用者懇談会	<p>(目的) ケアプラザの貸館団体同士のつながりやケアプラザに対する理解をしていただく。</p> <p>(内容) 貸館についてやケアプラザとはというお話やどんな団体なのかなどの情報交換を行ないます。</p>	3月頃

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>(目的) 日頃ケアプラザ内でのボランティア活動をしていただいている方への感謝の気持ちとして行います。</p> <p>(内容) 食事会と演奏会</p>	3月頃

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お元気フェスタ	<p>(目的) 地域住民に運動啓発を行うとともに、子どもから高齢者までが交流できる場づくり。</p> <p>(内容) 第一地区社会福祉協議会と共催のもと、運動につながるような仕組みづくり、多世代が集えるような場づくりを行ないます。</p>	10月頃 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昼食会	<p>(目的) 多世代にわたり、昼食というツールを使い集える場づくり。</p> <p>(内容) 各町内会館で昼食づくりを行ない、多世代にわたり交流してもらう。</p>	年3回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の救急講座	(目的) 親子に救急の大事さを伝える。 子どものころから救急対応を知ってもらおう。 (内容) 実践などを踏まえて救急の行い方を学ぶ。	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児支援講座	(目的) 父親になって子供との過ごし方を学んでもらう。 友達作り。 (内容) 絵本の読み聞かせ、仕事と子育ての料理サポートほめる子育てなど講師の先生に講座を行ってまいります。	11、12月 計2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	(目的) 介護者同士が交流、情報交換を行なう事で、精神的負担を軽減し、無理なく介護を続けることができるよう支援する。 (内容) フリートークを行なった。昨年度フリートーク中に話があった、家族の認知症の事、施設への入居の事、近所に出来る小規模多機能型居宅介護施設の事や家族の入居に対応するため、施設見学、認知症サポーター養成講座を公開講座として開催する。	毎月16日 12回開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバー安心講座	(目的) 地域住民が老後を安心して充実した生活を過ごせるよう、必要な知識の普及を図る。 (内容) 成年後見制度、尊厳死、遺言、相続、資産、葬儀等に関する講演を実施する。	2月～3月 計2回 開催予定

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西ハイツサロン	<p>(目的) 地域ケアプラザと同一敷地内にある市営住宅（西ハイツ）の住民を中心に、住民同士のつながりができる場づくり。</p> <p>(内容) 住民どうしでおしゃべりができ、顔が見え、安心できる場を、生活相談室で開催。出入り自由でお茶とお菓子をを用意する。ケアプラザ職員と民生委員で運営する。</p>	毎月第2木曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマイルとみおかの会・スマイルみどりの会	<p>(目的) 認知症の理解が出来、楽しい刺激で脳を元気に活性化させ認知症を予防する。認知症ポスター・ボランティアの実践力を磨ける場づくり。</p> <p>(内容) 認知症予防ゲーム・スリーAの標語でもある「あかるく、あたまを使って、あきらめない」をモットーに簡単な手遊びなどのゲームを通して実践する。誰もが大きな声で笑い合い、心が自然と癒され脳を活性化させる。</p>	毎月第4月曜日 ・第2金曜日 計24回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とみおか健康フェア	<p>(目的) 地域の誰もが参加出来、健康づくりのPR、健康づくりの地域での醸成を目的として開催し、健康寿命の延長を図る。</p> <p>(内容) リズム体操・体力測定（身長・体重・握力・足趾力・ロコモチェック、片足立ち等）・笑いヨガ 昼時間にはパン販売ブースを設け、昼食をともにし親睦を図ります。</p>	9月 30日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり教室	<p>(目的) 高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、具体的な取り組みを始めるきっかけを提供し、介護予防活動を実践出来る高齢者が増えることを目指す。</p> <p>(内容) 健康講話・体操・レクリエーション・笑いヨガ・ウォーキングを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東芝杉田コーポ 毎月第3月曜：12回 ・西富岡 毎月第2水曜：12回 ・富岡北部 毎月第4木曜：11回 ・桜ヶ丘 毎月第2・4水曜：24回 ・富岡元気づくり 毎月第2・4木曜：22回 ・小田元気づくり 毎月第2曜：11回 ・元気づくりウォーキング 毎月第1曜：9回 ・笑いヨガ 毎月第1金曜：12回 <p style="text-align: right;">毎</p>

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	
介護予防啓発事業	<p>(目的) 介護予防に向けた実践的な講座を開き介護予防の大切さを地域住民に知っていただく。</p> <p>(内容) 歯科衛生士による口腔ケア講座、管理栄養士による栄養講座、運動指導士による尿失禁予防、転倒予防、ロコモ予防、ハマトレ講座</p>	<p>口腔講座 8月・1月：2回 栄養講座7月2回 10月1回 12月1回、尿失禁予防講座5月1回、転倒予防講座6月1回、ロコモ・ハマトレ講座11月1回。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山椒の会	<p>(目的) 参加者自らがメニューを考え、買物、調理、会計を役割分担しながら協力して作業を行い楽しく会食し、認知症の予防を図る。</p> <p>(内容) はまちゃん体操、メニューの確認、調理、会食し次回のメニューを考え買物の係を決める。</p>	毎月第3水曜日：11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座	<p>(目的) 専門職からの病気や介護予防に関する知識を学び実践的に役立つ方法を習得してもらう。</p> <p>(内容) 認知症・介護予防のための病気に関する知識や病状管理・健康管理についての講演。</p>	2月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマイルカフェ	<p>(目的) 地域住民のつながりを形成する。</p> <p>(内容) いつでも誰でも気軽に立ち寄り、お茶を飲みおしゃべりをし、自由に楽しく集える場づくり。</p>	毎月第4月曜：12回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズ	(目的) 認知症予防運動 (内容) 認知課題と運動課題を同時に行い、楽しみながら心身の機能を挙げていくエクササイズを行う。	毎月第1火曜：1 2回

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
0～1歳児講座	0～1歳児と保護者	53,000	26,000	24,000	50,000	3,000	0
	15人						
	1回200円						
ほほえみくらぶ	2～3歳児と保護者	36,000	12,000	24,000	30,000	6,000	0
	20人						
	1回200円						
いちごクラブ	幼稚園児	36,000	0	36,000	0	0	36,000
	40人						
	1回100円						
お父さんと一緒に遊ぼう	3～6歳児と父親	3,000	0	3,000	0	0	3,000
	10人						
	1回100円						
子育て講座	年少～年長お父さんをお持ちの保護者	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	20人						
	無料						
親子でチャレンジ	小学生と保護者	30,000	0	30,000	0	30,000	0
	10人						
	1回700円						
けあぶら広場	小学生	0	0	0	0	0	0
	20人くらい						
	0円						
苦手克服教室	小学生	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	40人						
	0円						
ひなたぼっこ	個別級に通う小学生	10,000	0	10,000	0	10,000	0
	10人						
	1回100円						
ぽっかぽか	個別級に通う中学生	10,000	0	10,000	0	0	10,000
	6人						
	1,000円						
サマーフレンド	障がいのある小、中学生	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	20人						
	1,000円						
手作りクッキーでクリスマス会	個別級に通う小学生	10,000	0	10,000	0	0	10,000
	10人						
	1,000円						
富岡リハビリ教室	中途障がいの方	0	0	0	0	0	0
	30人						
	0円						
わくわく体操	高齢者	0	0	0	0	0	0
	30人						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

歌声広場	高齢者						
	50人	60,000	0	60,000	60,000	0	0
	100円						
みんなの歌広場	高齢者						
	50人	60,000	0	60,000	60,000	0	0
	100円						
シニアパワー	地域の方						
	25人	0	0	0	0	0	0
	100円						
せせらぎサロン	地域の方						
	30人	50,000	0	50,000	0	50,000	0
	0円						
コミハ・ケアプラ祭	地域の方						
	420人	120,000	0	120,000	10,000	110,000	0
	0円						
チャレンジフェスティバル	地域の方						
	100人	30,000	20,000	10,000	30,000	0	0
	500円						
女性のためのエアロビクス	地域の方						
	30人	0	0	0	0	0	0
	0円						
医療講演会	地域の方						
	70人	0	0	0	0	0	0
	0円						
ナイトヨガ	地域の方						
	40人	120,000	20,000	100,000	120,000	0	0
	1回300円						
学校と施設の連絡会	学校と施設						
	22人	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	0円						
利用者懇談会	貸館団体						
	40人	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	0円						
ボランティア感謝会	ボランティアをしてきている方						
	50人	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	0円						
お元気フェスタ	地域の方						
	100人	100,000	10,000	0	10,000	0	0
	0円						
昼食会	地域の方						
	50人	12,000	2,000	10,000	0	10,000	2,000
	200円						
親子の救急講座	小学生をお持ちの親子						
	20人	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	0円						
		793,000	143,000	557,000	385,000	239,000	79,000

事業ごとに別紙に記載してください。